

本日、私は古希（満 70 歳）を迎えました。

「私の脱原発宣言」を発してから 2 年、福島第一原発事故以来 2 年 3 ヶ月の歳月が経ちました。アツと言う間もない 2 年 3 ヶ月という感覚と、もう随分昔のこのように錯覚するような時間と空間が流れました。

しかし、福島第一原発は今も大量の放射能を周辺に放出し続け、このフクイチの廃炉には今後 40 年は掛ると言われています。

私が 100 歳まで生きられたとしても、日本の 54 基の原発の内、どれ一つ廃炉にはなっていないことがハッキリしてきました。

人類は核と“友に”滅亡するのか！ の思いを抱きつつ、私もその前に草葉の陰に消え去るのか・・・

この 2 年間、私は脱原発に何を、どれ程の事をして来たのだろうか？

私は関東周辺の反・脱原発の集会には自分の日程が許す限り参加し、そこで得た体験・情報を出せるだけ多くの人に伝えようと、私のメル友に発信することにしました。

これは以前の私ではとても出来ない勇気（？）の要ることでした。

大江健三郎さん、落合恵子さん、鎌田慧さんらの提唱する「さよなら原発 1000 万人署名運動」は、現在 827 万人に達しています。

歌手の沢田研二さん、加藤登紀子さんや俳優の山本太郎さんらの有名人もあちらこちらの集会等で脱原発を訴えておられます。

泉田裕彦新潟県知事、佐藤栄佐久前福島県知事、村上達也東海村村長、三上元湖西市市長等々、多くの地方の首長さんも、そして何よりも凄いのは、北は北海道泊原発から南は九州川内原発まで全国の全ての原発の立地・地には、建設当初からすでに 40 数年以上にわたり、粘り強く原発反対を闘って来た無名の地元住民の方が沢山いらっしゃる事です。

しかし、添付の昨日 (6. 16) の毎日新聞の報道のように安倍内閣は、前政権の 2030 年代の原発ゼロの方針を反故にし、原発推進にまた Gear-change してしまいました。

やはり権力者は、99%の Poor（我々市民）より 1%の Rich（資本家）の言うことに従うものでしょうか？

核というパンドラの箱を開けてしまった人類は、もう二度と再び蓋をすることはできないだろうか。

北朝鮮もイランも、もしかしたら日本も Nuclear Weapon 核兵器 (=Nuclear Power Plant 核発電設備) を欲しているのだろうか？

待て！ ドイツは2022年を目標に脱原発を決定した。スイスもイタリアも脱原発に舵を切った。アメリカ、オバマも2009年にプラハで「核なき世界」を発し、ノーベル平和賞を受賞した。（米本国、その他の国でも多くの賛辞は無かったが・・・）

愚生も残り少ない余生を Nuclear (核) の付くものを無くすために、今後も Never Mind の精神で微々たる力を注ぎたいと思う。

「私の脱原発宣言」から2年、古希を迎えた2013年6月17日・記

最近の脱原発掲示板



2013年6月16日毎日新聞

